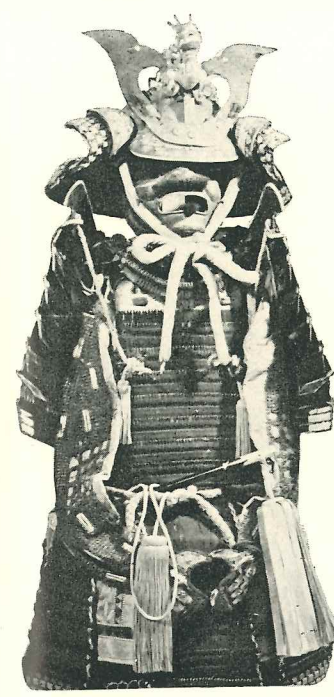


總說・風土

- 觀光
- 官公衛・団体・学校
- 市民の生活
- 土木・港湾
- 上水道・電気
- 交通・通信
- 司法・警察・消防
- 福祉・労働・家屋
- 衛生・保健
- 産業・経済
- 教育・文化・宗教
- 議会・市役所・選挙・財政
- 人口・世帯・国勢調査
- 沿革・位置・気象

革置  
面積  
沿位  
土地  
月平均気温  
天気類別日数



地街市

- 観光
- 官公衙・団体・学校
- 市民の生活
- 土木・港湾
- 上水道・電気
- 交通・通信
- 司法・警察・消防
- 福祉・労働・家屋
- 衛生・保健
- 産業・経済
- 教育・文化・宗教
- 議会・市役所・選挙・財政
- 人口・世帯・国勢調査

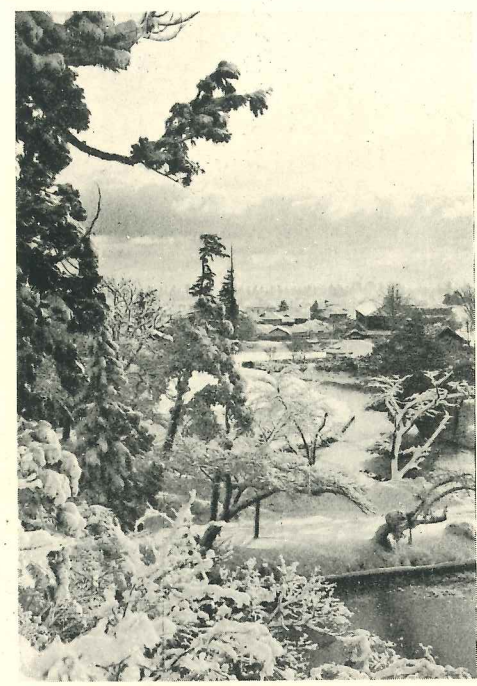
## 沿革

相馬市は旧中村町を中心とする周辺旧宇多郷1町7ヶ村が合併して、昭和29年3月31日市制を施いた。

市街地である旧中村町は今より凡そ1000年前に編纂された「和名抄」にその名を載せられた名区である。更にそれより約130年前の延暦20年坂上田村麿の東夷征討の折、その臣菅原敬実が西館に居城して当地方を領地したことが文献に伝えられている。

その後鎌倉の始頃、鈴木氏が熊野を奉じて紀州より此地に來り、次第に菅原氏に代つて、宇多の過半を勢力範囲とするに至つたが、降つて後醍醐天皇の頃には、結城宗広が此地を領して中村広重を中野に置いて治めさせた。而しこれも間もなく相馬氏に滅され、結局中村は海東朝高に采邑として相馬氏より与えられ、爾後海東氏中村と改姓した。やがて慶長16年藩主相馬利胤は居城を小高より此处に移し、爾來明治維新に至るまで13代261年の間相馬氏果代居住の城となつた。

なお詳細に言えば、廃藩置県の時までは大字中村は町奉行の支配に属し、大字西山、中野は各1村として肝煎が置かれた。明治4年11月中村県を廢して平県に合併、12月磐前県と改称、その支庁及び会所を置くや、明治7年10月支庁を廢するまでは里正又は戸長が統轄に當り、中村、西山、中野に各役場を設けたが支庁と共に改正され戸長も用掛と改められた。明治9年福島県に合併同12年2月中村に行方、宇多郡役所を置いたが、この時町村行政も改正され、中村には中村、小泉、小野、西山の4ヶ村戸長役場を、中野には中野、成田、馬場野、百槻、南飯淵の5ヶ村戸長役場を設けた。昭和16年再び之を合併して中に上述の9ヶ村戸長役場を置いたが、明治22年8月町村制実施の際、中野、中村、西山の三ヶ村を合併して町政を施き、更に昭和4年5月松ヶ江村を合併し町勢を拡大ならしめた。



冬の中村城趾より市街地を望む

昭和29年3月町村合併（中村町、大野村、飯豊村、八幡村、山上玉野組合村、日立木村、磯部村）により市制を施き大相馬市を目指して躍進している。

### 位 置

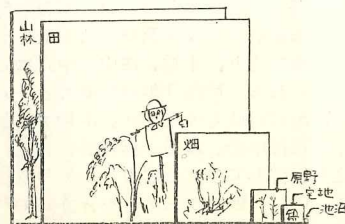
相馬市は、福島県の東北端に位し西は阿武隈の連峰、県立公園霊山を望み、東は太平洋に臨む、南は鹿島町を隔て原町市に接し、北は新地村を隔て宮城県と接して、陸前浜街道に沿う相馬地方の文化、交通の中心地である。

地勢は山間部、平坦部、海岸部分れ、市街地は平坦部にあり、鉄道（常磐線）、国道（6号線）、が南北に走り、県道、市道が四通八達し、交通、運輸の便は頗る良好である。清流宇多川は市街地の中央を東西に貫通し、千町歩の耕地を潤し、県立公園松川浦を経て太平洋に注いでいる。松川浦は東方に位置し原釜と共に市の要働をなしている。

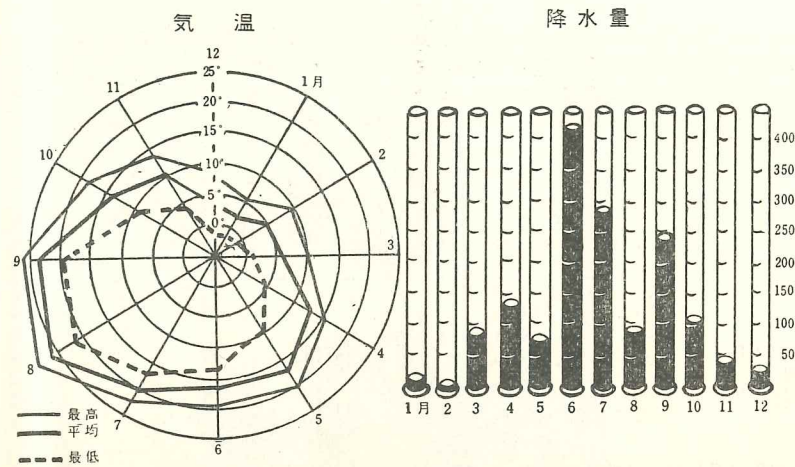
都心地帯 大町、田町、宇多川町、栄町、荒井町  
 区 域 東西28 K、南北13 K  
 衛星都市 仙台市、福島市、原町市、白石市  
 面 積 197.29 K<sup>2</sup>

#### 土地面積

田	2775町1反7畝24歩
畑	1258町8反9畝16歩
宅地	781,949坪
山林	2848町8反4畝12歩
山野	463町2反1畝08歩
池沼	31町4反3畝19歩
計	7638町1反8畝07歩



### 気 象



- 観光
- 官公衛・団体・学校
- 市民の生活
- 土木・港湾
- 上水道・電気
- 交通・通信
- 司法・警察・消防
- 福祉・労働・家屋
- 衛生・保健
- 産業・経済
- 教育・文化・宗教
- 議会・市役所・選挙・財政
- 人口・世帯・国勢調査

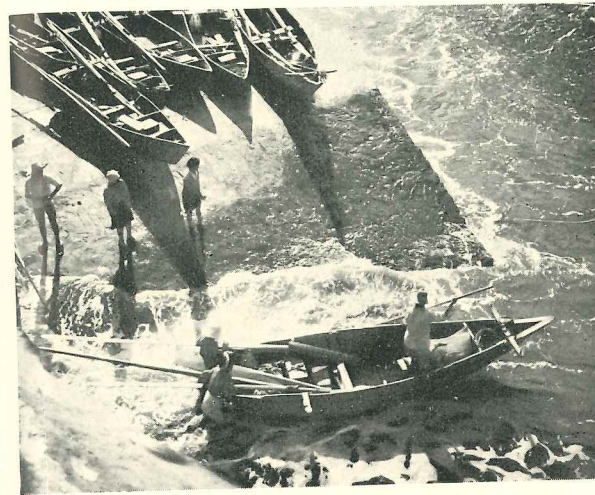
観測所 福島県相馬市成田字栗町 (東経 140度55分 北緯37度47分 海拔 8米)

月	平均気象										天気類別日数						
	平均気温	最高気温	最低気温	平均湿度	降水量mm	降水日数	日照時間	平均気圧	風向	風力	快晴	晴	曇	降雪	地震		
1月	1.7	5.2	-1.9	72	13.7	8	119.2	764	NW	1.5	6	7	18	4	-		
2月	4.9	8.9	-0.8	64	5.0	4	165.7	763	W	2.1	13	4	11	-	-		
3月	6.2	9.7	0.8	65	89.9	8	202.5	766	W	1.8	13	3	15	4	-		
4月	12.5	15.7	6.3	66	130.9	12	184.8	762	NE	1.8	7	8	15	-	4		
5月	16.6	20.0	9.9	64	70.9	11	208.0	762	NW	2.6	2	12	17	-	4		
6月	16.4	18.3	13.5	78	408.0	22	63.2	762	E	1.6	0	5	25	-	2		
7月	20.0	22.0	17.3	85	286.0	28	74.9	761	E	1.7	0	2	29	-	-		
8月	25.8	27.8	21.2	79	85.6	9	172.5	763	SE	1.4	1	10	20	-	3		
9月	23.0	25.4	18.9	82	240.6	16	119.0	763	NE	1.4	3	8	11	-	-		
10月	14.9	17.6	9.4	73	103.6	12	151.0	767	NW	1.7	4	10	17	-	2		
11月	10.9	13.8	3.7	67	45.0	7	147.4	767	NW	1.8	4	13	13	-	2		
12月	5.0	8.7	0.7	71	36.0	13	140.7	766	W	2.6	4	13	14	9	1		

○初霜11月12日、終霜4月28日、初氷11月19日、終氷4月10日  
 ○初雪11月19日、終雪3月11日  
 ○桜花開期——4月6日、つばめ初見——4月2日、ほたる初見——6月16日

## 住民

現在人口  
 産業別人口  
 外国人登録人口  
 隣接町村の人口  
 戦後人口の趨勢  
 国勢調査  
 地区別人口  
 産業別人口  
 無職人口  
 世帯別人口



人口・世帯・国勢調査  
 議会・市役所・選挙・財政  
 教育・文化・宗教  
 産業・経済  
 衛生・保健  
 福祉・労働・家屋  
 司法・警察・消防  
 交通・通信  
 上水道・電気  
 土木・港湾  
 市民の生活  
 官公衛・団体・学校  
 観光